

「認知症ガイドブック改訂2版」について（案）

1 目的

練馬区における認知症ケアパス（認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れ）や相談機関、支援サービス等を区民に対してわかりやすく示し、認知症とともに安心して暮らせる方策について啓発を図る。

2 主な対象

認知症の早期発見・早期対応の対象となる前期高齢者および家族等

3 発行部数

初版（平成28年3月）	3万3千部
改訂版（平成30年4月）	1万部
改訂2版（令和2年3月）	1万部（予定）

4 配布（周知方法）

- ・区立施設等
- ・医師会、薬剤師会等
- ・居宅介護支援事業所

5 仕様

A4判 中綴じ 20頁（現行と同じ） 再生マットコート紙 オールカラー

6 改訂内容（案）

裏面参照

7 今後のスケジュール

年度	月	作業内容
元	10月	第2回専門部会 改訂案の検討
	11月	第1回在宅療養推進協議会 改訂案の検討
	1月	第3回専門部会 最終案の確認
	2月	発注、校正、印刷、配布に向けた準備
	3月	配布

改訂内容(案)

1 改訂趣旨

現行版の内容はそのままに、新たに項目を付け加えるものとし、イラストの精選・縮小、既存項目の組換え等により対応する。

2 新規項目

①仕事と介護の両立(パンフレットの紹介)

区が平成31年4月に発行した「仕事と介護の両立パンフレット」を紹介する。

②ACP(アドバンス・ケア・プランニング) 愛称:人生会議

認知症においては、比較的早期に本人の判断力が低下することが多く、なるべく早いうちからACPが行われることが望ましいので、啓発記事を掲載する。

③N-impro(ニンプロ)

認知症の人への理解を深め、住民が主体的に地域づくりに参加するツールのひとつとして、活用を促進する取組みについて紹介する。

④介護家族の会・認知症カフェ

介護家族に対する資源として、介護家族の会と認知症カフェについて紹介する。

⑤成年後見制度

制度の概要について掲載する。

⑤通院医療費助成と手帳の交付

制度の概要についてコラムです。

3 主な見直し

・現行6ページ(早期の気づきについて)

要点を文章説明し、症状は「例」として表示する。軽症の段階から孤立しないよう促す。

・現行8ページ(認知症の人への接し方について)

説明を平易な文章とし、「怒り」等のネガティブなイメージを与えないよう文言とイラストを入れ替える。